

蒲生干潟の地形調査104 2025年1月31日



Fig.1 GPS簡易測量結果 (地理院地図を加工して作成)



Fig.2 潟湖全体の様子 (南側からドローン撮影)



Fig.3 七北田川河口 (西側からドローン撮影)



Fig.4 潟湖南東部の様子 (南側からドローン撮影)



Fig.5 潟湖南東部 (Fig.4○部)



Fig.6 動物の足跡

調査日 2025年1月31日 (金) 13:00~14:15 ※干潮時刻10:54 (潮位72cm) 満潮時刻16:26 (潮位150cm)

Fig.1は、GPS簡易測量による1月31日の汀線である。潟湖全体の水量は少なく、干上がった部分が多く見られた (Fig.2, Fig.4, Fig.5)。七北田川河口付近では、右岸砂州が河道内に大きく張り出し、左岸はわずかに砂が堆積していた (Fig.3)。南東部の潟湖が分断した状態であった (Fig.4○部, Fig.5)。本継続調査でこのような分断を確認したのは、2022年3月の調査以来である。今回の調査でも北東側最北部の潟湖は出現していた。また、たぬきと思われる動物の足跡も見られた (Fig.6)。

(門脇 駿)